

満開の桜が、まぶしい緑に変わりました。過ごしやすい季節になりましたが、新しい生活がスタートして1か月、子どもたちには疲れも出やすい時期です。体調に気を付けて過ごしていきましょう。

衣類を見直して、ケガを防止しましょう

小さなこどもは、頭が重く体のバランスがとりづらいです。また、夢中になると周囲への注意が難しくなる、危険を予測できない…などの、ケガをしやすい理由があります。ぜひ、お子さまの衣類を見直して、ケガ防止につなげていきましょう。

ズボンの丈はくるぶしまで

長すぎると転びやすくなります。
折り上げるだけだと落ちてきてしまうので、縫い付けていただく会更好です。



フードのひもに注意

フードのひもは遊具に引っかかって転んだり、首がしまったりする可能性があります。
シンプルで動きやすいものを選びましょう。

靴はピッタリのものを

靴がゆるいと、歩きにくく脱げたり転んだりします。
つま先に5mm~1cmほどの余裕があるものを。



体調不良の際のおねがい

4月の園だよりでもお伝えしましたが、咳・鼻水などの風邪症状がある時は、早めの病院受診や休息をとりましょう。無理をしないことが早期回復にも繋がります。
また、37.5℃以上の発熱や、下痢・嘔吐があった場合は、**症状が治まって24時間以上の経過**をみて活動するようにしましょう。

つめ、伸びていませんか？

子どもの皮膚は薄く、ちょっとひっかいただけでも傷がついてしまいます。
年齢が低いほど、噛みつきやひっかき傷などのトラブルが多くみられます。
爪は1週間に一度チェックして短くカットし、角はやすりで丸く整えてあげられると良いですね。

